

機械系機械コース 学修課程

【修士課程】

人材養成の目的

機械工学における基本学理を構成する体系的な専門知識を有するとともに、これらを活用し、社会的視野で問題解決を図る創造能力を有し、先端科学・技術の発展および社会問題の解決に貢献することができる人材を養成することを目的とする。

学修目標

本課程では、上記の目的の達成のために、次のような能力の修得を学修目標としている。

- ・ 課題の本質理解を可能とする思考能力
- ・ 機械工学分野をコアとする幅広い工学分野の知識と技術を活用した問題解決能力
- ・ 最先端科学・技術の探求能力
- ・ 国際的視野をもって研究開発等を遂行する能力
- ・ 論理的説明能力を持ち、議論を展開し文書にまとめる能力
- ・ 強い倫理観を持って研究開発等に携わる姿勢

学修内容

本課程では、「学修目標」で記載した「修得する能力」を身に付けるために、次のような内容の学修を行う。

A) 機械工学分野をコアとした専門科目の学修

学士課程で修得した機械工学分野の基礎知識を土台とし、機械工学分野を中心とした専門科目群の受講を通じて、最先端科学・技術の探求に必要となる幅広い工学的知識と専門学力を修得する。

B) 周辺専門科目および関連科目の学修

専門分野を超えた知識拡張により、異分野への適応能力と学際的な研究遂行力を養い、社会において優れた工学者として活躍するのに有用となる多角的知識と広い視野を修得する。

C) 思考能力・問題解決能力等諸能力の修得

修士論文研究の遂行や、問題解決の手法や演習問題を取り入れた授業の受講などを通じて、課題の本質を理解する思考能力、問題解決能力などの、最先端科学・技術の探求に必要となる諸能力を修得する。

D) コミュニケーション能力と論理的伝達力の修得

研究開発の遂行において必要となる他者に対する論理的説明能力と対話力、研究成果を発表する際に必要となる論理構成力、および、修士論文等の学術論文の作成に必要な文書化力を修得する。

E) 国際的視野および倫理観を涵養する学修

国内外の研究開発動向等を取り扱う授業の受講、国際学術交流、海外研究機関等への留学等を通じて、広い国際的視野を修得するとともに、多様な文化と価値観が存在するグローバル社会において責任ある工学者として活躍するための強い倫理観を涵養する。

修了要件

本コースの修士課程を修了するためには、次の要件を満たさなければならない。

1. 30単位以上を大学院授業科目（400及び500番台）から取得していること。
2. 本コースで指定された授業科目において、次の要件を満たすこと。
 - ・講究科目を8単位取得していること。
 - ・専門科目群の研究関連科目と専門科目から10単位以上を修得していること。
 - ・教養科目群の文系教養科目のうち400番台を2単位以上、500番台の科目1単位以上、アントレプレナーシップ科目から2単位以上を含み合計5単位以上修得していること。
3. 修士論文審査及び最終試験に合格すること。
4. 短縮修了の場合は、在学期間中に開講されていないために修得することができない講究科目の単位数は上記2.の1項目目の8単位から、コース標準学習過程の専門科目群18単位以上から減ずるが、その他の単位数については上記1.と2.のとおり修得していること。

表M1に本コースにおける授業科目区分と修士課程修了に必要な単位数を示す。必要単位数は科目区分ごと、また科目群ごとに指定され、「必修科目単位」欄及び「選択科目単位」欄には科目選択にあたっての注記がある。「学修内容との関連」欄には科目と関連する学修内容を示す。履修申告にあたっては、科目と学修内容の関係を十分理解すること。

表M1 機械コース修士課程修了要件

科目区分		必修科目単位	選択科目単位	単位数	学修内容との関連	備考
教養科目群	文系教養科目		・400番台から2単位以上 ・500番台から1単位以上	5単位以上	B, C	
	アントレプレナーシップ科目		2単位以上		C, D	後述のGAを原則として全て満たすこと。
	その他					
専門科目群	講究科目	機械工学講究 S1 機械工学講究 F1 機械工学講究 S2 機械工学講究 F2 を各2単位、 合計8単位		コース標準学修課程の専門科目群から 18単位以上	C, D, E	
	研究関連科目		10単位以上		C, D, E	
	専門科目				A, B, C, D, E	
	コース標準学修課程以外の専門科目又は研究関連科目					
修了単位合計		上記の条件を満たし、30単位以上修得すること				

【備考】

- ・文系教養科目、アントレプレナーシップ科目の詳細は、「IV. 教養科目群履修案内」のそれぞれの章を参照すること。
- ・外国人留学生が受講可能である「日本語・日本文化科目」の授業科目を修得した場合、対応する番台の文系教養科目としてみなすことができる。

授業科目

表M2に本コースの修士課程における専門科目群の授業科目を示す。表右端の備考欄にコース名が記載されている科目については、本コースが指定する他コースの専門科目等を示し、修得した場合、「科目区分」欄に記載された、本コースの標準学修課程の「専門科目」、「研究関連科目」として取り扱われる。

表M2 機械コース修士課程専門科目群

科目区分	科目コード	科目名	単位数	身に着ける力	学修内容	備考	
講 究 科 目	400 番台	MEC. Z491. R R ◎	機械工学講究 S1 (Seminar in Mechanical Engineering S1)	0-2-0	1, 3, 5	C, D	授業言語は研究室による
		MEC. Z492. R R ◎	機械工学講究 F1 (Seminar in Mechanical Engineering F1)	0-2-0	1, 3, 5	C, D	授業言語は研究室による
	500 番台	MEC. Z591. R R ◎	機械工学講究 S2 (Seminar in Mechanical Engineering S2)	0-2-0	1, 3, 5	C, D	授業言語は研究室による
		MEC. Z592. R R ◎	機械工学講究 F2 (Seminar in Mechanical Engineering F2)	0-2-0	1, 3, 5	C, D	授業言語は研究室による
研 究 関 連 科 目	500 番台	MEC. S531. L L 選 択	海外研究プロジェクト M1c (Overseas Research Project M1c)	0-0-1	2, 3, 4, 5	E	
		MEC. S532. L L 選 択	海外研究プロジェクト M2c (Overseas Research Project M2c)	0-0-2	2, 3, 4, 5	E	
		MEC. S533. L L 選 択	海外研究プロジェクト M3c (Overseas Research Project M3c)	0-0-3	2, 3, 4, 5	E	
		MEC. S534. L L 選 択	海外研究プロジェクト M4c (Overseas Research Project M4c)	0-0-4	2, 3, 4, 5	E	
専 門 科 目	400 番台	MEC. C431. L L 選 択	★ Mechanics of Composite Materials (複合材料力学特論)	1-0-0	1	A	
		MEC. C432. L L 選 択	★ Structural Integrity Assessment (構造健全性評価学特論)	1-0-0	1, 5	A	
		MEC. C433. L L 選 択	★ Solid Dynamics (固体動力学特論)	1-0-0	1, 5	A	

MEC. C435. L	L 選 択	★	Solid State Ionics (固体イオニクス特論)	1-0-0	1	A	
MEC. D433. L	L 選 択	★	Self-excited vibration (自励振動)	1-0-0	1, 5	A	
MEC. E432. L	L 選 択	★	Properties of Solid Materials (固体材料物性)	1-0-0	1	A	
MEC. E433. L	L 選 択	★	Advanced Thermal-Fluids Measurement (熱流体先端計測)	1-0-0	1, 5	A	
MEC. E434. L	L 選 択	★	Numerical Analysis of Heat Transfer and Fluid Flow (熱流体モデリング)	1-0-0	1, 4	A	
MEC. E452. L	L 選 択	★	Advanced Course of Combustion Physics (燃焼物理学)	1-0-0	1, 5	A	エネルギー・情報コース 開講科目 (ESI. K450. L)
MEC. E453. L	L 選 択	★	Interdisciplinary scientific principles of energy 1 (エネルギー基礎学理第一)	1-0-0	1, 5	A	エネルギー・情報コース 開講科目 (ESI. A401. A) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
MEC. E454. L	L 選 択	★	Interdisciplinary scientific principles of energy 2 (エネルギー基礎学理第二)	1-0-0	1, 5	A	エネルギー・情報コース 開講科目 (ESI. A402. A) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
MEC. E455. L	L 選 択	★	Interdisciplinary principles of energy devices 1 (エネルギーデバイス論第一)	1-0-0	1, 5	A	エネルギー・情報コース 開講科目 (ESI. A403. A) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓

								越教育課程優先
MEC. E456. L	L 選 択	★	Interdisciplinary principles of energy devices 2 (エネルギーデバイス論第二)	1-0-0	1, 5	A		エネルギー・情報コース 開講科目 (ESI. A404. A) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
MEC. E457. L	L 選 択	★	Interdisciplinary energy materials science 1 (エネルギーマテリアル論第一)	1-0-0	1, 5	A		エネルギー・情報コース 開講科目 (ESI. A405. A) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
MEC. E458. L	L 選 択	★	Interdisciplinary energy materials science 2 (エネルギーマテリアル論第二)	1-0-0	1, 5	A		エネルギー・情報コース 開講科目 (ESI. A406. A) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
MEC. E459. L	L 選 択	★	Energy system theory (エネルギーシステム論)	1-0-0	1, 5	A		エネルギー・情報コース 開講科目 (ESI. A407. A) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
MEC. E460. L	L 選 択	★	Marketing for Value Creation (価値創造のためのマーケティ ング)	1-0-0	2, 4	B		エネルギー・情報卓越教 育課程開講科目 (ENI. H401) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
MEC. E461. L	L 選 択	★	Finance and Data Analysis in Energy Markets (エネルギー市場のファイナン スとデータ分析)	1-0-0	2, 4	B		エネルギー・情報卓越教 育課程開講科目 (ENI. H402) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
MEC. E462. L	L 選 択	★	Economic Development and Energy Policies (経済開発とエネルギー政策)	1-0-0	2, 4	B		エネルギー・情報卓越教 育課程開講科目 (ENI. H403) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
MEC. F431. L	L 選 択	★	Computational Fluid Dynamics (計算流体力学)	1-0-0	1	A		
MEC. F451. L	L 選 択	★	Advanced Course of Turbulent Flow and Control	1-0-0	1, 5	A		エネルギー・情報コース 開講科目 (ESI. K430. L)

		択		(乱流制御論)				
MEC. G431. L	L	★	選	Mechanical Processing (機械加工学)	1-0-0	1	A	
MEC. G432. L	L	★	選	Metalforming (塑性加工学)	1-0-0	1	A	学士課程時に履修した学生のみ履修登録可
MEC. G433. L	L	★	選	Joining (接合工学)	1-0-0	1, 4	A	
MEC. H431. L	L	★	選	Advanced Mechanical Elements (先端機械要素)	1-0-0	1, 4, 5	A	学士課程時に履修した学生のみ履修登録可
MEC. H433. L	L	★	選	Mechatronics Device and Control (メカトロニクス機器と制御)	1-0-0	1, 3, 5	A, B	
MEC. H434. L	L	★	選	Advanced Course of Actuator Engineering (先端アクチュエータ)	1-0-0	1, 5	A, B	
MEC. H435. L	L	★	選	Machine Dynamics of Rigid Systems (剛体系の動力学)	1-0-0	1, 2, 5	A	休講
MEC. J432. L	L	★	選	Mechanism and Control for Ultra-precision Motion (超精密機構とその制御)	1-0-0	1, 5	A, B	
MEC. L431. L	L	★	選	Human Brain Functions and Their Measurements (ヒト脳機能の基礎と計測)	1-0-0	1, 3	B	
MEC. M432. L	L		選	宇宙工学実践プロジェクト (Practical Space Engineering Project)	1-1-1	1, 3, 4, 5	B, C	
MEC. M434. L	L	★	選	Space Robotics (宇宙ロボティクス)	1-0-0	1	B	
MEC. M435. L	L		選	宇宙システムイニシアティブ (Space Systems Initiative)	2-0-0	1, 3, 4, 5	B, C	休講
MEC. N431. L	L	★	選	Special Lecture in MEC M1S (機械コース特別講義 M1S)	1-0-0	1, 2	A, B	休講

		MEC. N432. L	L 選 択	★ Special Lecture in MEC M1F (機械コース特別講義 M1F)	1-0-0	1, 2	A, B	休講
		MEC. P405. L	L 選 択	★ Materials simulation (マテリアルズシミュレーション)	2-0-0	1, 5	B, C	物質理工学院開講科目 (XMC. A402. L)
		MEC. P406. L	L 選 択	★ Materials Informatics (マテリアルズインフォマティクス)	2-0-0	1, 5	B, C	物質理工学院開講科目 (XMC. A404. L)
		MEC. R431. L	L 選 択	オフキャンパスプロジェクト M1c (Off-campus Project M1c)	0-0-1	3, 4, 5	C, D	
		MEC. R432. L	L 選 択	オフキャンパスプロジェクト M2c (Off-campus Project M2c)	0-0-2	3, 4, 5	C, D	
		MEC. R438. L	L 選 択	大田区起業体験オフキャンパス プロジェクト (Ota City Start-up Experience Off-Campus Project)	0.5-0- 0.5	3, 4, 5	C, D	超スマート社会卓越教育 課程開講科目 (SSS. S433)
		MEC. T431. L	L 選 択	★ Science Tokyo-KAIST DD technical research project (MEC) (Science Tokyo-KAIST DD 技術 研究プロジェクト (機械コー ス))	0-2-0	1, 3, 5	C, D	Science Tokyo-KAIST ダ ブルディグリー (DD) プ ログラムに所属している KAIST の学生のみ受講可能
		MEC. U434. L	L 選 択	★ Advanced Internal Combustion Engine Engineering and Future Power Train A (先進内燃エンジンおよび新規 パワートレイン A)	3-0-0	1, 2, 3	A	

500 番台	MEC. C531.L	L 選 択	★	Mechanics of High Temperature Materials (高温材料強度学特論)	1-0-0	1, 5	A, B	
	MEC. E531.L	L 選 択	★	Plasma Physics (プラズマ物理)	1-0-0	1, 5	B	
	MEC. E552.L	L 選 択	★	Leading Edge Energy Technology (先端エネルギー技術)	1-0-0	1, 2	B	エネルギー・情報コース 開講科目 (ESI. K580. L)
	MEC. G531.L	L 選 択	★	Precision Manufacturing Processes (高精度加工学)	1-0-0	1, 5	A, B	
	MEC. G532.L	L 選 択		タグチメソッド (Taguchi Method)	1-0-0	1	C	
	MEC. H531.L	L 選 択	★	Robot Control System Design (ロボットの制御系設計)	1-0-0	1	A, B	
	MEC. H532.L	L 選 択	★	Kinematic Analysis and Synthesis of Robots (ロボット総合論)	1-0-0	1	A	
	MEC. H533.L	L 選 択	★	Soft Robotics (ソフトロボット学)	1-0-0	1, 5	A, B	
	MEC. I531.L	L 選 択	★	Mechanical Biomimetics (機械バイオミメティクス)	1-0-0	1	B	

MEC. J531. L	L 選 択	★	Micro and Nano Systems (マイクロ・ナノシステム)	2-0-0	1	A, B	
MEC. M532. L	L 選 択		宇宙システム利用 (Space Systems and Missions)	2-0-0	1, 4, 5	B	
MEC. N531. L	L 選 択	★	Special Lecture in MEC M2S (機械コース特別講義 M2S)	1-0-0	1, 2	A, B	休講
MEC. N532. L	L 選 択	★	Special Lecture in MEC M2F (機械コース特別講義 M2F)	1-0-0	1, 2	A, B	休講
MEC. N533. L	L 選 択	★	Analytical and analogical methods to solve the heat transfer equation and the application to infrared image processing (伝熱解析と赤外線画像処理へ の応用)	1-0-0	1, 2, 3, 4, 5	B	材料コース開講科目 (MAT. P507)
MEC. N534. L	L 選 択	★	Fundamentals of electrochemistry and the application to energy conversion materials (電気化学の基礎とエネルギー 変換材料)	1-0-0	1, 2, 3, 4, 5	B	材料コース開講科目 (MAT. P506)

- ・◎：必修科目，○選択必修科目，★英語で授業を行う科目，○：奇数年度英語開講科目，E：偶数年度英語開講科目
- ・身に着ける力：1，専門力 2，教養力 3，コミュニケーション力 4，展開力（探究力又は設定力） 5，展開力（実践力又は解決力）
- ・備考：他）▲▲コース開講科目（カッコ内は開講元のコースにおける科目コード）
- ・科目コードにおける「分野コード」は次の通り。（ABC.D400.Rの「D」の項目）A：工業力学，B：工学数理，C：材料力学，D：機械力学，E：熱力学，F：流体力学，G：機械材料，加工・生産工学，H：設計製図・情報処理・創造性育成，I：ロボティクス・メカトロニクス，J：精密工学，K：情報処理，L：生体工学，M：宇宙工学，N：機械工学特別講義，Q：国際大学院関連，R：オフキャンパスプロジェクト，S：海外研究プロジェクト，T：社会人特別実験・演習，U：TAIST 科目，Z：講究科目

アントレプレナーシップ科目対応科目

本コースの修士課程修了要件に記されるアントレプレナーシップ科目については、「IV.教養科目群履修案内-アントレプレナーシップ教育コア」の表 M-1 に示されている Graduate Attributes (GA)を原則として全て満たし、2単位以上の単位を修得しなければならない。GA の修得状況については、修了時にコースで判定する。複数の GA が対応する科目については、当該科目の単位を修得することでその科目に対応する全ての GA を満たしたものとみなされる。

この GA を修得するために、アントレプレナーシップ科目に加えて、アントレプレナーシップ科目としてみなすことができる専門科目及びコースで開講するアントレプレナーシップ科目として、表M3の科目が用意されている。

なお、対応科目をアントレプレナーシップ科目として修了要件に含めた場合、専門科目として修了要件に含めることができないので留意すること。また、これらの科目をアントレプレナーシップ科目としてみなさなかった場合でも、対応する GA は修得したものとすることができる。

【参考】アントレプレナーシップ科目の履修案内より

表 M-1 修士課程学生に求められる Graduate Attributes とは、次のとおりです。

GA0M：自らのキャリアデザインを明確に描き、その実現に必要な能力を、社会との関係、倫理を含めて認識できる

GA1M：自らのキャリアデザインを実現するために必要となる知識・スキル、倫理、アントレプレナーシップ等を修得し、他者と共同して課題解決に貢献できる

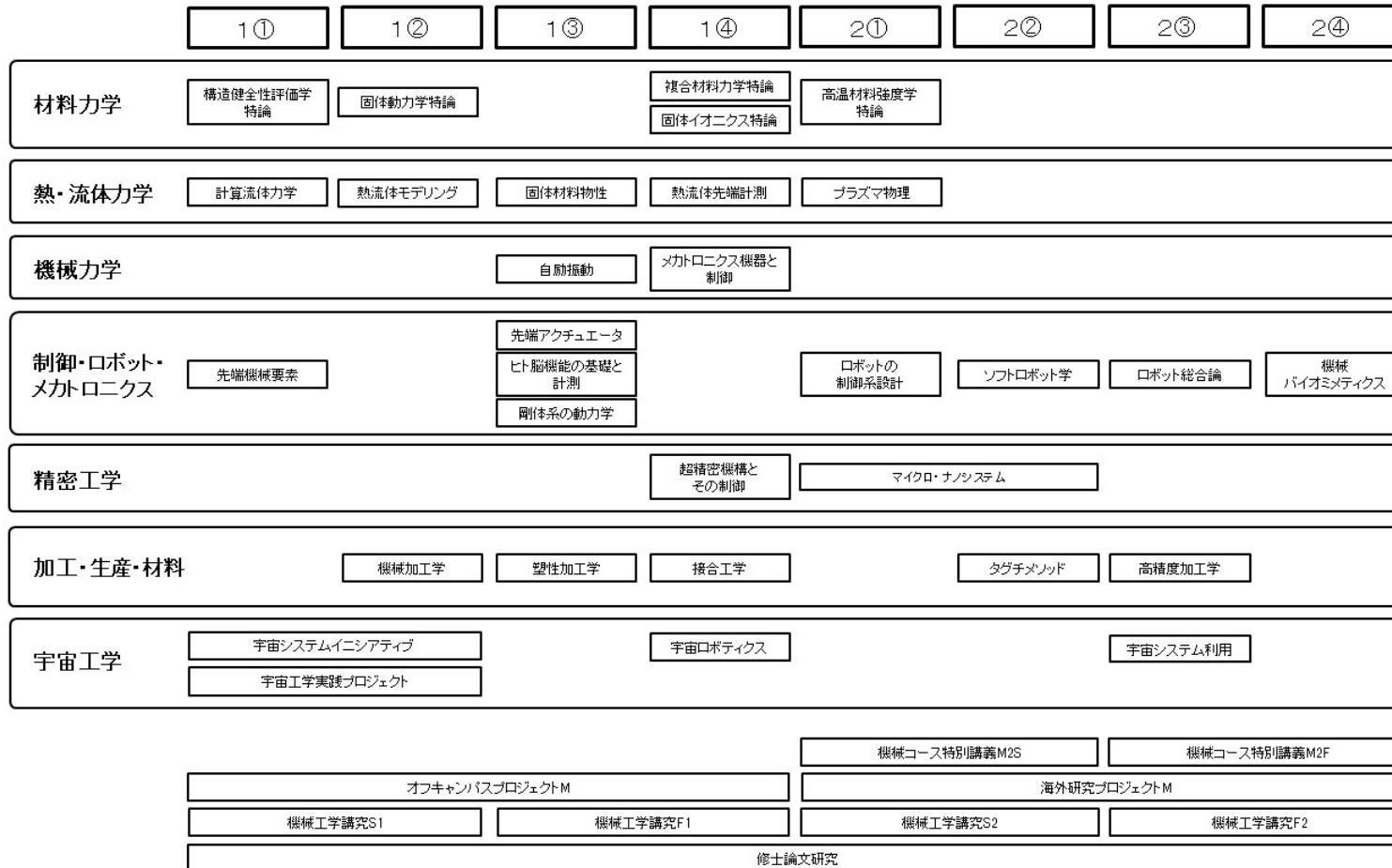
表M3 機械コース修士課程アントレプレナーシップ科目対応科目及び各コースで開講するアントレプレナーシップ科目

対応科目区分	科目コード	科目名	単位数	対応するGA	学修内容	備考
アントレプレナーシップ科目としてみなすことができる専門科目	MEC. R431. L	オフキャンパスプロジェクト M1c (Off-campus Project M1c)	0-0-1	GA1M	C, D	
	MEC. R432. L	オフキャンパスプロジェクト M2c (Off-campus Project M2c)	0-0-2	GA1M	C, D	
	MEC. R438. L	大田区起業体験オフキャンパスプロジェクト (Ota City Start-up Experience Off-Campus Project)	0.5-0-0.5	GA1M	C, D	超スマート社会卓越教育 課程開講科目
	MEC. S531. L	海外研究プロジェクト M1c (Overseas Research Project M1c)	0-0-1	GA1M	E	
	MEC. S532. L	海外研究プロジェクト M2c (Overseas Research Project M2c)	0-0-2	GA1M	E	
	MEC. S533. L	海外研究プロジェクト M3c (Overseas Research Project M3c)	0-0-3	GA1M	E	
	MEC. S534. L	海外研究プロジェクト M4c (Overseas Research Project M4c)	0-0-4	GA1M	E	
上記科目の他、教養科目群アントレプレナーシップ科目から選択すること。（「IV. 教養科目群履修案内」参照）						

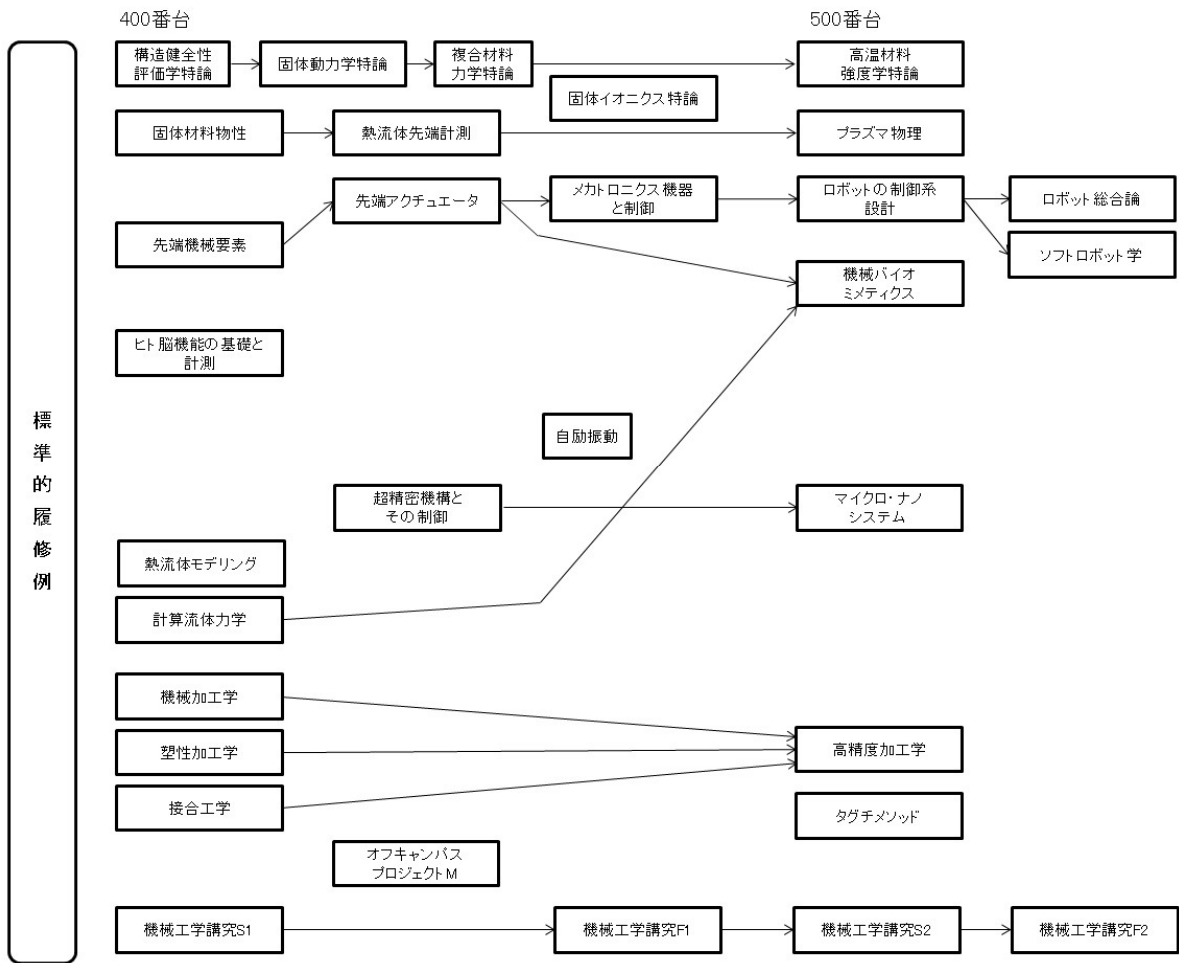
なお、データサイエンス・AI 全学教育機構でも、「IV. 教養科目群履修案内-アントレプレナーシップ教育コア」に記載されている以外にアントレプレナーシップ科目とみなすことができる科目が用意されており、開講元の判断

で履修できる場合がある。具体的な科目，履修要件等は，データサイエンス・AI 全学教育機構の学修案内を参照のこと。

科目体系図



標準的履修例



【博士後期課程】

人材養成の目的

機械工学における体系的な専門知識と周辺学問分野の広範な知識を基盤として、機械工学の革新を図る先端研究を推進し、国際的視野に立って社会問題を解決する研究課題の提案と解決を図るリーダーシップ力と実践能力を有し、新たな価値を創造して研究成果を社会に還元することができる人材を養成することを目的とする。

学修目標

本課程では、上記の目的の達成のために、次のような能力の修得を修士課程より高い基準で学修目標としている。

- ・課題の本質理解を可能とする思考能力
- ・機械工学分野をコアとする幅広い工学分野の知識と技術を体系化することにより、新たな機械システムを提案・開発する能力
- ・最先端科学・技術の先導能力
- ・リーダーとしてプロジェクトを立案・遂行する能力
- ・国際的視野をもって研究開発等を遂行する能力
- ・論理的説明能力を持ち、議論を展開し文書にまとめる能力
- ・強い倫理観を持って研究開発等に携わる姿勢

学修内容

A) 機械工学分野をコアとした幅広い専門科目の学修

機械工学分野を中心とした専門科目群の受講を通じて、最先端科学・技術を開拓し先導的役割を果たすのに必要となる広範で深化した工学的知識と専門学力を修得する。

B) 周辺専門科目および関連科目の学修

専門分野を超えた知識拡張により、異分野への適応能力と学際的な研究展開力を養い、学术界・産業界において先導的な工学者として活躍するのに有用となる多面的知識と広い視野を修得する。

C) リーダーシップ能力・創造的提案能力等諸能力の修得

博士論文研究の遂行や、問題解決の手法や演習問題を取り入れた授業の受講などを通じて、自らがリーダーとなってプロジェクトを立案・遂行するのに必要なリーダーシップ能力、修得した広範な工学分野の知識を体系化し新しい機械システムを生み出すのに必要な創造的提案能力、課題の本質を理解する思考能力、問題解決能力などの、最先端の科学・技術を先導するために必要となる諸能力を修得する。

D) コミュニケーション能力と論理的伝達力の修得

研究開発プロジェクトのリーダーとして活躍するために必要となる、他者に対する高度な論理的説明能力と対話力、研究成果やプロジェクト構想等を発表する際に必要となる論理構成力、および、博士論文等の学術論文の作成に必要な文書化力を修得する。

E) 国際的視野および倫理観を涵養する学修

国内外の研究開発動向等を取り扱う授業の受講，国際学術交流，海外研究機関等への留学等を通じて，広い国際的視野を修得するとともに，多様な文化と価値観が存在するグローバル社会において責任ある工学・科学者として活躍するための強い倫理観を涵養する。

修了要件

本コースの博士後期課程を修了するためには，次の要件を満たさなければならない。

1. 24単位以上を大学院授業科目（600番台）から取得していること。
2. 本コースで指定された授業科目（600番台）において，次の要件を満たすこと。
 - ・講究科目を12単位，取得していること。
 - ・専門科目群の研究関連科目と専門科目から2単位以上を修得していること。
 - ・教養科目群の文系教養科目のうち2単位以上，アントレプレナーシップ科目から4単位以上を含み合計6単位以上修得していること。
3. 博士論文審査及び最終試験に合格すること。
4. 短縮修了の場合は，在学期間中に開講されていないために修得することができない講究科目の単位数は，上記1. の24単位から減じ，上記2. の専門科目群から14単位以上（講究科目12単位，研究関連科目と専門科目から2単位以上）の要件からも減じること。

表D1に本コースにおける授業科目区分と博士後期課程修了に必要な単位数を示す。必要単位数は科目区分ごと，また科目群ごとに指定され，「必修科目単位」欄及び「選択科目単位」欄には科目選択にあたっての注記がある。「学修内容との関連」欄には科目と関連する学修内容を示す。履修申告にあたっては，科目と学修内容の関係を十分理解すること。

表D 1 機械コース博士後期課程修了要件

科目区分		必修科目単位	選択科目単位	単位数	学修内容との関連	備考
教養科目群	文系教養科目		2 単位以上	6 単位以上	B, C	後述の GA を原則として全て満たすこと。
	アントレプレナーシップ科目		4 単位以上		C, D	
	その他					
専門科目群	講究科目	機械工学講究 S3 機械工学講究 F3 機械工学講究 S4 機械工学講究 F4 機械工学講究 S5 機械工学講究 F5 を各 2 単位, 合計 12 単位		コース標準学修課程の専門科目群から 14 単位以上	C, D, E	
	研究関連科目		2 単位以上		C, D, E	
	専門科目				A, B, C, D, E	
	コース標準学修課程以外の専門科目又は研究関連科目					
修了単位合計		上記の条件を満たし、24 単位以上修得すること				

【備考】

- ・文系教養科目、アントレプレナーシップ科目の詳細は、「IV. 教養科目群履修案内」のそれぞれの章を参照すること。
- ・外国人留学生が受講可能である「日本語・日本文化科目」の授業科目を修得した場合、対応する番台の文系教養科目としてみなすことができる。

授業科目

表D 2に本コースの博士後期課程における専門科目群の授業科目を示す。表右端の備考欄にコース名が記載されている科目については、本コースが指定する他コースの専門科目等を示し、修得した場合、「科目区分」欄に記載された、本コースの標準学修課程の「専門科目」、「研究関連科目」として取り扱われる。

表D 2 機械コース博士後期課程専門科目群

科目区分	科目コード	科目名	単位数	身に着ける力	学修内容	備考
講究科目 600番台	MEC. Z691. R	R ◎ 機械工学講究 S3 (Seminar in Mechanical Engineering S3)	0-2-0	1, 3, 4, 5	C, D	授業言語は研究室による
	MEC. Z692. R	R ◎ 機械工学講究 F3 (Seminar in Mechanical Engineering F3)	0-2-0	1, 3, 4, 5	C, D	授業言語は研究室による
	MEC. Z693. R	R ◎ 機械工学講究 S4 (Seminar in Mechanical Engineering S4)	0-2-0	1, 3, 4, 5	C, D	授業言語は研究室による
	MEC. Z694. R	R ◎ 機械工学講究 F4 (Seminar in Mechanical Engineering F4)	0-2-0	1, 3, 4, 5	C, D	授業言語は研究室による
	MEC. Z695. R	R ◎ 機械工学講究 S5	0-2-0	1, 3, 4, 5	C, D	授業言語は研究室による

			◎	(Seminar in Mechanical Engineering S5)		5		
		MEC. Z696. R	R ◎	機械工学講究 F5 (Seminar in Mechanical Engineering F5)	0-2-0	1, 3, 4, 5	C, D	授業言語は研究室による
研究 関 連 科 目	600 番台	MEC. Q613. L	L 選 択	★ Off-campus Project SSSEP (オフキャンパスプロジェクト SSSEP)	0-0-4	2, 3, 4, 5	C, D, E	
		MEC. R651. L	L 選 択	InfoSyEnergy 共同研究プロジ ェクト1 (InfoSyEnergy-joint research projects 1)	0-0-2	3, 4, 5	C, D	エネルギー・情報卓越教 育課程開講科目 (ENI. C611) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
		MEC. R652. L	L 選 択	InfoSyEnergy 共同研究プロジ ェクト2 (InfoSyEnergy-joint research projects 2)	0-0-4	3, 4, 5	C, D	エネルギー・情報卓越教 育課程開講科目 (ENI. C612) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
		MEC. S631. L	L 選 択	海外研究プロジェクト D1c (Overseas Research Project D1c)	0-0-1	2, 3, 4, 5	E	
		MEC. S632. L	L 選 択	海外研究プロジェクト D2c (Overseas Research Project D2c)	0-0-2	2, 3, 4, 5	E	
		MEC. S633. L	L 選 択	海外研究プロジェクト D3c (Overseas Research Project D3c)	0-0-3	2, 3, 4, 5	E	
		MEC. S634. L	L 選 択	海外研究プロジェクト D4c (Overseas Research Project D4c)	0-0-4	2, 3, 4, 5	E	
		MEC. S635. L	L 選 択	海外研究プロジェクト D5c (Overseas Research Project D5c)	0-0-5	2, 3, 4, 5	E	
		MEC. S636. L	L	海外研究プロジェクト D6c	0-0-6	2, 3, 4,	E	

			選 択	(Overseas Research Project D6c)		5		
		MEC. T638. L	L 選 択	機械工学社会人特別実験・演習 第一 S (Special Experiment and Exercise for Working Adults in Mechanical Engineering IS)	0-0.5- 0.5	1, 4, 5	C	
		MEC. T639. L	L 選 択	機械工学社会人特別実験・演習 第二 S (Special Experiment and Exercise for Working Adults in Mechanical Engineering II S)	0-0.5- 0.5	1, 4, 5	C	
		MEC. T640. L	L 選 択	機械工学社会人特別実験・演習 第三 S (Special Experiment and Exercise for Working Adults in Mechanical Engineering III S)	0-0.5- 0.5	1, 4, 5	C	
		MEC. T641. L	L 選 択	機械工学社会人特別実験・演習 第一 F (Special Experiment and Exercise for Working Adults in Mechanical Engineering IF)	0-0.5- 0.5	1, 4, 5	C	
		MEC. T642. L	L 選 択	機械工学社会人特別実験・演習 第二 F (Special Experiment and Exercise for Working Adults in Mechanical Engineering II F)	0-0.5- 0.5	1, 4, 5	C	
		MEC. T643. L	L 選 択	機械工学社会人特別実験・演習 第三 F (Special Experiment and Exercise for Working Adults in Mechanical Engineering III F)	0-0.5- 0.5	1, 4, 5	C	
専 門 科 目	600 番台	MEC. N631. L	L 選 択	★ Special Lecture in MEC D1 (機械コース特別講義 D1)	1-0-0	1, 2	A, B	
		MEC. N632. L	L	★ Special Lecture in MEC D2	1-0-0	1, 2	A, B	

		選 択		(機械コース特別講義 D2)				
MEC. N633. L	L	★ 選 択		Special Lecture in MEC D3 (機械コース特別講義 D3)	1-0-0	1, 2	A, B	
MEC. N634. L	L	★ 選 択		Special Lecture in MEC D4 (機械コース特別講義 D4)	1-0-0	1, 2	A, B	
MEC. N635. L	L	★ 選 択		Analytical and analogical methods to solve the heat transfer equation and the application to infrared image processing (Advanced) (伝熱解析と赤外線画像処理へ の応用 (発展))	1-0-0	1, 2, 3, 4, 5	B	材料コース開講科目 (MAT. P601)
MEC. N651. L	L	★ 選 択		InfoSyEnergy-international forum 1 (InfoSyEnergy 国際フォーラム 1)	0-0-2	3, 4, 5	C, D, E	エネルギー・情報卓越教 育課程開講科目 (ENI. B611) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
MEC. N652. L	L	★ 選 択		InfoSyEnergy-international forum 2 (InfoSyEnergy 国際フォーラム 2)	0-0-2	3, 4, 5	C, D, E	エネルギー・情報卓越教 育課程開講科目 (ENI. B612) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
MEC. N653. L	L	★ 選 択		InfoSyEnergy-international forum 3 (InfoSyEnergy 国際フォーラム 3)	0-0-2	3, 4, 5	C, D, E	エネルギー・情報卓越教 育課程開講科目 (ENI. B613) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
MEC. R631. L	L	選 択		オフキャンパスプロジェクト D1c (Off-campus Project D1c)	0-0-1	3, 4, 5	C, D	
MEC. R632. L	L	選 択		オフキャンパスプロジェクト D2c (Off-campus Project D2c)	0-0-2	3, 4, 5	C, D	
MEC. R633. L	L	選 択		オフキャンパスプロジェクト D3c (Off-campus Project D3c)	0-0-3	3, 4, 5	C, D	
MEC. R634. L	L	選 択		オフキャンパスプロジェクト	0-0-4	3, 4, 5	C, D	

		選 択	D4c (Off-campus Project D4c)				
MEC. R635. L	L	選 択	オフキャンパスプロジェクト D5c (Off-campus Project D5c)	0-0-5	3, 4, 5	C, D	
MEC. R636. L	L	選 択	オフキャンパスプロジェクト D6c (Off-campus Project D6c)	0-0-6	3, 4, 5	C, D	
MEC. S651. L	L	★ 選 択	InfoSyEnergy-international field work-short term (InfoSyEnergy 国際フィールド ワーク(短期))	0-0-2	3, 4, 5	C, D, E	エネルギー・情報卓越教 育課程開講科目 (ENI. C616) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
MEC. S652. L	L	★ 選 択	InfoSyEnergy-international field work-long term (InfoSyEnergy 国際フィールド ワーク(長期))	0-0-4	3, 4, 5	C, D, E	エネルギー・情報卓越教 育課程開講科目 (ENI. C617) エネルギー・情報コー ス, エネルギー・情報卓 越教育課程優先
MEC. T631. L	L	選 択	機械工学指導実践 (Teaching Practice in Mechanical Engineering)	0-0-2	1, 3, 5	D	
MEC. R637. L	L	選 択	ジョブ型研究インターンシップ (機械コース) (Cooperative Education through Research Internships of Mechanical Engineering)	0-0-6	1, 3, 4, 5	C, D	

- ・◎：必修科目，○選択必修科目，★英語で授業を行う科目，○：奇数年度英語開講科目，E：偶数年度英語開講科目
- ・身に着ける力：1，専門力 2，教養力 3，コミュニケーション力 4，展開力（探究力又は設定力） 5，展開力（実践力又は解決力）
- ・備考：他）▲▲コース開講科目（カッコ内は開講元のコースにおける科目コード）
- ・科目コードにおける「分野コード」は次の通り。（ABC.D600.Rの「D」の項目）A：工業力学，B：工学数理，C：材料力学，D：機械力学，E：熱力学，F：流体力学，G：機械材料，加工・生産工学，H：設計製図・情報処理・創造性育成，I：ロボティクス・メカトロニクス，J：精密工学，K：情報処理，L：生体工学，M：宇宙工学，N：機械工学特別講義，Q：国際大学院関連，R：オフキャンパスプロジェクト，S：海外研究プロジェクト，T：社会人特別実験・演習，U：TAIST 科目，Z：講究科目

アントレプレナーシップ科目対応科目

本コースの博士後期課程修了要件に記されるアントレプレナーシップ科目については、「IV.教養科目群履修案内ーアントレプレナーシップ教育コア」の表 D-1 に示されている Graduate Attributes (GA)を原則として全て満たし、4単位以上の単位を修得しなければならない。GA の修得状況については、修了時にコースで判定する。複数の GA が対応する科目については、当該科目の単位を修得することでその科目に対応する全ての GA を満たしたものとみなされる。

この GA を修得するために、アントレプレナーシップ科目に加えて、アントレプレナーシップ科目としてみなすことができる専門科目及びコースで開講するアントレプレナーシップ科目として、表 B-1 の科目が用意されている。

なお、対応科目をアントレプレナーシップ科目として修了要件に含めた場合、専門科目として修了要件に含めることができないので留意すること。また、これらの科目をアントレプレナーシップ科目としてみなさなかつた場合でも、対応する GA は修得したものとすることができる。

【参考】アントレプレナーシップ科目の履修案内より

表 D-1 博士後期課程学生に求められる Graduate Attributes とは、次のとおりです。

GA0D：自らのキャリアを明確にデザインし、アカデミア・産業界の構成員として活躍するための知識・スキル、社会的責任、倫理等を包括的に理解して、イノベーション実現に貢献できる

GA1D：自らがデザインしたキャリアを実現するために必要な高度なリーダーシップ、アントレプレナーシップ、知識・スキル、社会的責任、倫理等を身に着けることで、イノベーションの実現を主導できる

表 B-1 機械コース博士後期課程アントレプレナーシップ科目対応科目及び各コースで開講するアントレプレナーシップ科目

対応科目 区分	科目コード	科目名	単位数	対応 する GA	学修 内容	備考
アントレプレ ナーシッ ブ科目とし てみなすこ とができる 専門科目	MEC.T631.L	機械工学指導実践 (Teaching Practice in Mechanical Engineering)	0-0-2	GA1D	D	
	MEC.R631.L	オフキャンパスプロジェクト D1c (Off-campus Project D1c)	0-0-1	GA1D	C, D	
	MEC.R632.L	オフキャンパスプロジェクト D2c (Off-campus Project D2c)	0-0-2	GA1D	C, D	
	MEC.R633.L	オフキャンパスプロジェクト D3c (Off-campus Project D3c)	0-0-3	GA1D	C, D	
	MEC.R634.L	オフキャンパスプロジェクト D4c (Off-campus Project D4c)	0-0-4	GA1D	C, D	
	MEC.R635.L	オフキャンパスプロジェクト D5c (Off-campus Project D5c)	0-0-5	GA1D	C, D	
	MEC.R636.L	オフキャンパスプロジェクト D6c (Off-campus Project D6c)	0-0-6	GA1D	C, D	
	MEC.S631.L	海外研究プロジェクト D1c (Overseas Research Project D1c)	0-0-1	GA1D	E	
	MEC.S632.L	海外研究プロジェクト D2c (Overseas Research Project D2c)	0-0-2	GA1D	E	

			D2c)				
	MEC. S633. L		海外研究プロジェクト D3c (Overseas Research Project D3c)	0-0-3	GA1D	E	
	MEC. S634. L		海外研究プロジェクト D4c (Overseas Research Project D4c)	0-0-4	GA1D	E	
	MEC. S635. L		海外研究プロジェクト D5c (Overseas Research Project D5c)	0-0-5	GA1D	E	
	MEC. S636. L		海外研究プロジェクト D6c (Overseas Research Project D6c)	0-0-6	GA1D	E	
	MEC. R637. L	L 選 択	ジョブ型研究インターンシップ (機械コース) (Cooperative Education through Research Internships of Mechanical Engineering)	0-0-6	GA1D	C, D	
アントレプレナーシップ科目	MEC. P661		博士リカレント研修1(機械コース) Doctoral Recurrent Program 1 (Mechanical Engineering Course)	0-0-1	GA0D GA1D		※機械コースで開講する アントレプレナーシップ 科目である。 専門科目にはならない。
	MEC. P662		博士リカレント研修2-1(機械コース) Doctoral Recurrent Program 2-1 (Mechanical Engineering Course)	0-0-2	GA0D GA1D		※機械コースで開講する アントレプレナーシップ 科目である。 専門科目にはならない。
	MEC. P665		博士リカレント研修2-2(機械コース) Doctoral Recurrent Program 2-2 (Mechanical Engineering Course)	0-0-2	GA0D GA1D		※機械コースで開講する アントレプレナーシップ 科目である。 専門科目にはならない。
	MEC. P663		博士リカレント研修3(機械コース) Doctoral Recurrent Program 3 (Mechanical Engineering Course)	0-0-3	GA0D GA1D		※機械コースで開講する アントレプレナーシップ 科目である。 専門科目にはならない。
	MEC. P664		博士リカレント研修4(機械コース) Doctoral Recurrent Program 4 (Mechanical Engineering Course)	0-0-4	GA0D GA1D		※機械コースで開講する アントレプレナーシップ 科目である。 専門科目にはならない。

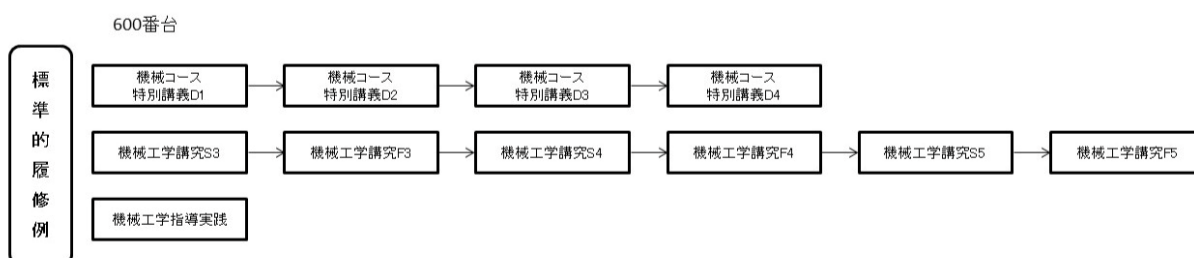
上記科目の他、教養科目群アントレプレナーシップ科目から選択すること。（「IV. 教養科目群履修案内」参照）

なお、データサイエンス・AI 全学教育機構でも、「IV. 教養科目群履修案内ーアントレプレナーシップ教育コア」に記載されている以外にアントレプレナーシップ科目とみなすことができる科目が用意されており、開講元の判断で履修できる場合がある。具体的な科目、履修要件等は、データサイエンス・AI 全学教育機構の学修案内を参照のこと。

科目体系図

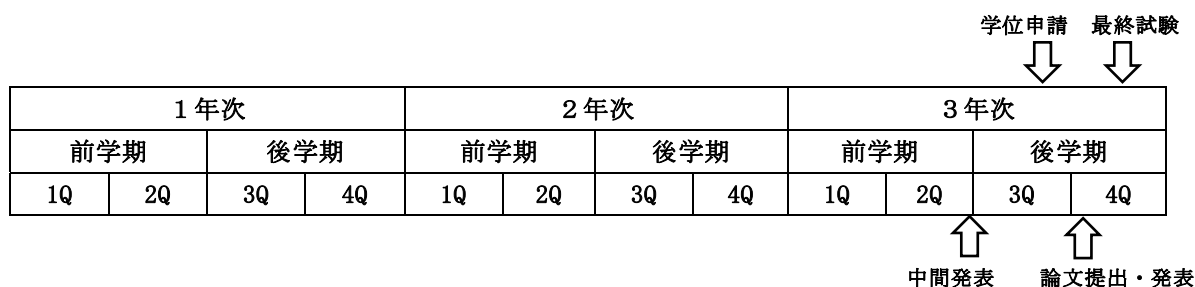
1①	1②	1③	1④	2①	2②	2③	2④	3①	3②	3③	3④
機械コース特別講義D1	機械コース特別講義D2	機械コース特別講義D3	機械コース特別講義D4	機械コース特別講義D1	機械コース特別講義D2	機械コース特別講義D3	機械コース特別講義D4	機械コース特別講義D1	機械コース特別講義D2	機械コース特別講義D3	機械コース特別講義D4
機械工学指導実践											
オフキャンパスプロジェクトD											
海外研究プロジェクトD											
機械工学社会人特別実験・演習第一-S	機械工学社会人特別実験・演習第一-F	機械工学社会人特別実験・演習第二-S	機械工学社会人特別実験・演習第二-F	機械工学社会人特別実験・演習第三-S	機械工学社会人特別実験・演習第三-F						
機械工学講義S3	機械工学講義F3	機械工学講義S4	機械工学講義F4	機械工学講義S5	機械工学講義F5						
博士論文研究											

標準的履修例



博士論文研究

博士論文研究の遂行を通じ、「学修目標」に記載された諸能力の修得を目指す。以下に、第12Qに修了する場合の進行を示す。



・博士論文審査基準

博士学位論文は、機械工学関連分野における新規性、独創性、及び十分な学術的価値を持つ自著の論文であって、主要部分が国際的な水準にある学術雑誌に掲載されているか、あるいは掲載される水準でなければならない。

・博士論文審査実施方法

審査委員会は5名以上の審査員で構成されるものとし、他の研究機関や企業等からの外部審査員を積極的に含めることを推奨する。学位申請後、学位論文を提出し、口頭発表を行った後、最終的な審査・評価を行い、学位授与の可否判断がなされる。